



7月1日より抗がん剤投与に用いる閉鎖式デバイスが 変更になります

現在、薬剤部で特定の抗がん剤を調製する時に用いる閉鎖式デバイスとして『**ケモクレーブ**』を使用しておりますが、不具合や資材費用削減の観点から『**エクアシールド**』へ変更することとしました。

つきましては、閉鎖式デバイスを使用している病棟では、**7月1日までにエクアシールドの『シングル びん針接続セット (PAC-01E)』と『バックスパイク (PBC-50E)』の準備をお願いいたします。**なお、これらの物流請求は**6月22日頃**オーダー可能になります。

従来品のものについては現在物流でのオーダーを停止しております。そのため、不足等ありましたら薬剤部（8321）までご連絡ください。

詳細・使用方法については、下記または裏面をご参照ください。

現在、物流でオーダーできません

6月22日以降でオーダーできます

従来品

ケモクレーブ
びん針接続セット
(IB-CH3034)



びん針
接続
セット

変更品

エクアシールド
シングル びん針接続セット
(PAC-01E) 50個入り



ケモクレーブ
バックスパイク
(IB-CH10)



輸液用
スパ
イク

エクアシールド
バックスパイク
(PBC-50E) 50個入り



●接続方法●

基本的にはケモクレーブとほとんど同じ方法で使います

- ①薬剤部で調製した抗がん剤はスパイクが刺さった状態で病棟に払い出されます。



対象薬剤：

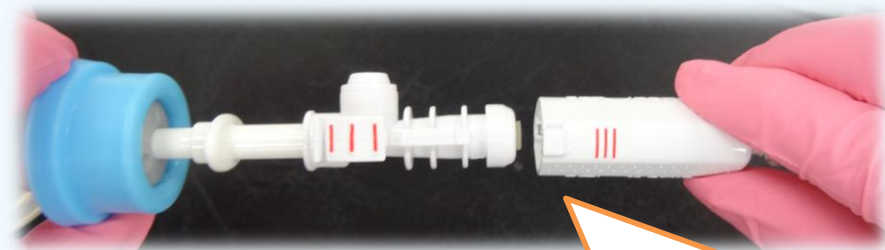
- ・エンドキサン
- ・イホマイド
- ・トリアキシン

- ②びん針接続セットに輸液ラインを接続します。



根元までしっかり差し込んでください

- ③接続部分をアルコール消毒後、赤色のマークを合わせてカチッと音が鳴るまで押し込みます。



赤色のマークを合わせてください

- ④接続を解除する際は、スパイクの赤色マークを押しながらびん針接続セットを抜いてください。